



学校だより

子どもの未来をみんなで創る

令和5年 3月号

神奈川県立相模原中央支援学校

いよいよ高等部3年生が3月10日、小中学部は3月23日に卒業を迎えます。ご卒業おめでとうございます。

高等部中学部の皆さんが、入学されてきた3年前というと全国一斉臨時休業のような、これまで誰も経験したことのない異様な雰囲気学校が始まりました。学校として何をどのようにすればよいのか暗中模索の日々でした。現在は当たり前になったオンライン授業は一部試行的に行っている程度でした。そこで新入生に、まずは校歌（手話付き）を動画教材として配信したことを思い出します。そんな新型コロナウイルスも5類に移行されインフルエンザ並みに変更されます。とはいえ、基礎疾患のある子ども達がたくさん通っているので油断はできません。

今年度は医療的ケアの通学支援事業の試行が始まりました。本校でもスクールバス登校や福祉車両の活用も始まりました。新年度も継続される事業です。全県的な事業へと拡大されますが、看護師の不足が課題として残っています。学習活動面ではコロナ以前から検討してきたカフェサービスを中学部と高等部の作業学習で始めました。来年度には保護者の皆様にも提供できるようになればと期待しております。また、パラスポーツが子ども達の身近な余暇活動に広がる兆し…ポッチャ大会やノジマステラスポーツクラブの協力による、サッカー観戦を体験するチャンスも引き続き広がっていきます。（校長 鈴木 善之）



ギンタ ギンコと桜
(事務サポーター画：藤廣さん)

ご卒業おめでとうございます。

正門横に植えられている河津桜がまもなく満開を迎えます。本校関係者だけでなく通りすがりの方たちも見上げてくれています。中にはカメラを構えてじっくり撮影されている方もいます。

小学部、中学部、そして高等部の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

特に小学部1年生から在籍して高等部を卒業する生徒の皆さんは、本校開校と同時に小1に入学されてから12年間、相模原中央支援学校の歴史とともに学校生活を送ってきた方たちです。

前述の河津桜は、開校時に植えられたものなので、たぶん小学部1年生に入学したときには今よりずっとずっと細い幹で咲かせる花の数も今ほど多くなかったのだろうと思います。

この12年間で、桜の木も生徒の皆さんたちと一緒に成長してきて、今は地域の方たちにも喜ばれる姿になっているのだと思うと感慨深いものがあります。

河津桜の木は、これからも成長を続け、太く大きくなりさらに多くの花を咲かせて、多くの方たちを喜ばせるようになっていくはずですよ。

卒業される方たちも、桜の木と同じように次の学部、社会に出てもそれぞれの目標、ペースで成長を続けていってくれることを期待しています。

そして時々桜の木の様子を見に学校に遊びに来てくれると嬉しいです。

(副校長 窪田 譲)